

授業改善 3つの強化ポイント 2017 (小学校国語編)

①児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

- ◆言語活動を充実させ、学びの過程のさらなる質の向上を図ることが求められています。
- ◆課題解決の過程となるよう柔軟に単元構想を工夫することが大切です。
- ◆目標を達成するための「やってみたい」「考えてみたい」という思いにつながる課題の設定が大切です。

例) 小学校3年「モチモチの木」
『大好きな登場人物をリーフレットで紹介しよう』

単元の学習計画の掲示、教師のモデルの提示等で、児童と教師が単元の目標やゴールの姿を共有する。

同一作家の物語を並行読書し、大好きな登場人物のリーフレットを作るために、「場面の移り変わりに注意しながら性格や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに読むこと」を教材文で学習する。

モデルみたいに作って〇年生に紹介したいな！大好きな登場人物をリーフレットで紹介するためには、登場人物の性格をしっかりとつかまないと書けないんだね。そのためには、どうしたらよいのかな？

学習課題

「大好きな登場人物をリーフレットで紹介するために、豆太の性格について考えよう」

「言語活動を通して狙いを達成した姿」を想定し、指導事項・学習活動・評価規準の整合性が大切です。



②考えを広げ深める対話的な学びの充実

- ◆子供にとって目的や必然性のある交流の場を設定していくことが大切です。

→ 例) 「はっきりしないから聞きたい」「考えを聞いてほしい」「困ったことがある」「もっとよいものにしたい」といった交流する目的を持つ。

グループ交流

文章全体を見通すことができる掲示物に、豆太の性格がわかる叙述に付箋を貼る
→交流を通して自分の考えを広げ深め、豆太の性格をつかむ

2回の交流を通して、児童自らが読みのポイントに気付いていくようにします。



〈交流1回目〉
同じ叙述を選んだ友達と交流

〈全体交流〉

同じ性格を挙げていても、違う叙述から考えていますね…



〈交流2回目〉
異なる場面や叙述を選んだ友達と交流

異なる場面や叙述を選んだ友達と交流

児童がどんな言葉・姿で交流していればよいかを具体的に持つことが大切です。

豆太が「医者様を…」と言っているところと「なきなき医者様の…」のところ…真夜中にふもとの医者様をよびに行くので勇気があると思います。



「なきなき…」とあるので、私はそこは勇気があるとは思わないで、大きなきさまのために「おくびよだけ思いやりがある」と思いました。どうして「勇気がある」と思ったのかももう少し詳しく教えて…

交流では、自分が選んだ叙述を指さし、その前後の叙述を関係付けながら自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたり、説明し合ったりするようにします。

全体交流

意見をどのように取り上げると児童の思考が深まったり、新たな気づきが生れたりするか教師がコーディネートします。

(文章全体の掲示を指しながら整理)

複数の叙述を関係付けると性格がはっきりすることに気付かせる。

もう一度自分の考えを見つめ直す



友達の考えを聞いて、自分の考える豆太の性格がはっきりしたよ。一つだけでなく、いくつかの文から考えると…。自分の選んだ大好きな人物の性格も考えられそうだよ。

③学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

- ◆発達段階に応じて、子供自身が自分の学びや変容を見とり、自分の学びを自覚することが大切です。
- ◆課題に応じた学習のまとめや振り返りの他に、教材文で学んだことを実際に活用することで理解を確実なものにします。並行読書を位置付けたり、同じ作者や同様のテーマの作品で学んだことを生かしたり、発展的な読書をする事で身に付けた力を実感させたりすることも有効です。

〈各自の読みの〉まとめ

豆太は、〇〇だけ△△などところがある。～と～などところから…

課題に即したまとめを、自分の言葉で書く。(キーワードを入れるなど条件付きも可)

まとめ

登場人物の性格は、会話文や、地の文の中の行動や周りの様子を表す文から読むことができる。一つだけでなく、いくつかの文を関係付けるとはっきりする。

さらに、一般化したまとめを位置付けることもある。

振り返り

豆太らしさが書かれている会話や行動を表す文をいくつか合わせて考えると性格がわかりました。ほくは、豆太が～したところから…と考えたけれど、友達の意見を聞いてはじめての場面の〇〇のところも合わせて考えて…。次の時間は自分の本で…。

本時で学んで分かったことや今後を生かそうなこと、新たな気づきや次時に考えたいこと、自分の変容等を書く。

学びが閉じない工夫が大切です。 例) 教材文で学んだことを使って自分の本につなげる工夫。

→例①授業の残りの時間、自分の選んでいる本を出して、大好きな人物のことがよく表れている文を探しながら読み、付箋を貼る。

→例②次の時間、自分の選んでいる本で、大好きな人物の性格を捉えリーフレットに書く。

